

2026年2月24日

4月19日(日)、5月17日(日)、6月7日(日)

**「高尾の森 親子森林体験スクール」開催**
**3月2日(月)から小学4年生～中学生までの親子30名を募集**

京王電鉄株式会社(本社:東京都多摩市、取締役社長:都村 智史)では、沿線での学びの機会を提案する「京王アカデミープログラム」の一環として、日本山岳会「高尾の森づくりの会」と共催し「高尾の森 親子森林体験スクール(以下、「本プログラム」)」を4月19日(日)、5月17日(日)、6月7日(日)に開催します。本プログラムは、小学4年生～中学生までの親子30名(一家族4名まで)を募集する全3回シリーズです。

本プログラムでは、裏高尾・小下沢(こげさわ)国有林や都有林の一部で植樹、植物・水生生物観察などを体験していただきます。実際の自然と触れ合い、森林保全作業や自然観察を通して、森の保全に向き合う人々との交流や森を保全する大切さ、必要性を学べる環境教育プログラムです。

今回は、新たな苗を植樹できるように土地を整理する作業「地拵え(じごしらえ)」のほか、丸太切り体験の際に丸太から「板」を切り出す「木挽き(こびき)」も体験できます。



植 樹



丸太切り



水生生物観察

≪2025年度の同プログラムの様子≫

**本件のポイント**

- ① 日本山岳会「高尾の森づくりの会」と共催し、「高尾の森 親子森林体験スクール」を4月19日(日)、5月17日(日)、6月7日(日)に開催。
- ② 丸太を輪切りにする「丸太切り体験」では、丸太から「板」を切り出す「木挽き」も体験し丸太から板に加工する過程を学ぶ。
- ③ 木工作品づくり、大声コンテストなど親子で楽しみながら絆を深める体験も用意。

## 1. プログラム概要

- (1) 名 称 京王アカデミープログラム「高尾の森 親子森林体験スクール」
- (2) 開催日時 ①4月19日(日) ②5月17日(日) ③6月7日(日) 全3回  
各回 7:50~15:00(予定)  
※少雨決行、天候により内容を変更することがあります。
- (3) 場 所 裏高尾・小下沢国有林および都有林の一部やその周辺
- (4) 体験内容
- ・新たな苗を植樹できるように土地を整理する作業「地拵え(じごしらえ)」を体験し、木を育てる過程で最初に行う重要な作業を学びます。
  - ・自然観察や水生生物観察、地拵えや植樹に加え、丸太切り体験の際に丸太から「板」を切り出す「木挽き(こびき)」も体験してもらいます。
  - ・木工作品づくり、大声コンテストなど親子で楽しみながら絆を深める体験など盛りだくさんな内容です。
- ※木挽き：大鋸(おが)という縦挽き用の鋸を用いて、輪切りではなく縦切りにすることで一枚の板を切り出す体験です。これにより、丸太を板に加工する過程を学びます。



《木挽き用大鋸(おが)》



《木挽き》

- (5) 対 象 小学4年生~中学生までの親子
- (6) 定 員 30名(一家族4名まで) ※応募者多数の場合は抽選
- (7) 参加費 各回とも お一人様500円(税込み) ※保険料含む実費分
- (8) 募集期間 3月2日(月) 11:00~4月6日(月) 17:00
- (9) 応募方法 京王アカデミープログラム ([www.keio.co.jp/keioacademy/](http://www.keio.co.jp/keioacademy/)) にある  
応募フォームからご応募ください。  
※応募は上記のホームページからのみ可能です。  
※本プログラムは全3回で構成されているため、応募者多数の場合は、すべて  
に出席できる方を優先します。  
※詳細はホームページをご覧ください。

## 2. お客さまのお問い合わせ先

京王電鉄広報部 京王アカデミープログラム担当  
TEL. 042-337-3250 (平日10:00~18:00)

## 【参考1】

### YouTube「京王電鉄公式チャンネル」について

「京王電鉄公式チャンネル」において、2024年の高尾の森親子森林体験スクール全3回に密着した動画を配信中です。現地でのプログラムの様子や森について熱く語る「高尾の森づくりの会」会員の様子などをどうぞご覧ください。



第1回



第2回



第3回



## 【参考2】「京王アカデミープログラム」について

当社では、「京王アカデミープログラム」として、京王沿線地域の多様で豊かな文化資産を活用し、沿線の大学・団体などとの連携による「文化（歴史・文学・音楽・美術・自然・科学など）」・「教育」・「子育て」に関する『学びプログラム』を定期的 to 実施しています。沿線の文化資産に触れる機会を創出するとともに、学び・成長のきっかけを提供することで、沿線での幸せな暮らしへとつなげていくことを目指します。